

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS GD

当社で実際に機械をご導入いただいたお客様の
「生の声」をご紹介します!

取材：営業部 営業企画推進課

株式会社ジー・アイ・サービス 様

今回2019年8月にジー・アイ・サービス様に導入されたORPHIS GD9630の感想を職員の方にお伺いしました。ジー・アイ・サービス様の事業内容は自動車関連サービスで、主に岐阜車体工業株式会社の福利厚生と清掃、自動車部品製造を行っています。リソグラフSD5680をORPHIS GD9630に入れ替えたことにより印刷環境が劇的に変化しています。



ORPHISに入れ替えて格段に便利に

当事務所では、研修資料やチラシなどの大量に印刷するものに、印刷スピードが速く・ランニングコストが安いリソグラフSD5680を使用していました。特に工場で使用するチェックシートや要領書の作成依頼が多く、1ヶ月で約10万枚を超える印刷があった為、印刷作業における印刷スピードは必須条件でした。印刷機のスピードは申し分ないですが、製版時間・インクの乾燥時間など印刷が多いが故の悩みを抱えていました。また事務所の同じフロア内がかつパーテーションなどが無い場所にリソグラフを設置していましたので、印刷時の音が大きく電話などが聞こえない事も重ねて課題となっていました。そんな時にジムブレンさんから、高速かつ後処理機能もある便利なプリンターがあるとORPHIS GD9630を紹介いただき、課題解決の為に導入を決めました。

ORPHISは高速処理が可能にも関わらず印刷機と比べ静音である為、ストレス無く仕事が行えるようになりましたね。リソグラフ使用時はインクが乾くのにも時間がかかる為、連続した作業を行う際は注意深く作業しないとインクで手や服を汚してしまうことがありましたが、ORPHISは油性の速乾性インクを使用している為、印刷後すぐに印刷物を触っても手が汚れず、連続作業の効率が各段に上がりました。消耗品管理に関しましても以前まではマスターとインクがあり、それぞれの交換や発注作業が大変でしたがORPHISは消耗品がインクのみで、さらにインクも1,000mlと大容量の為交換頻度も少なく安心して印刷をすることができています。

ステーブル留め印刷ももう怖くない!?

当社では教育研修資料の印刷の際、多い時は15~20枚の資料を120部ほど印刷してその後ホチキス留めの後処理を行っています。リソグラフで印刷していた時は、15種類の印刷を行い、机に全て並べ1枚ずつ取り、紙揃えしホチキス留めをするという作業を全て人の手で実施していた為、時間も労力も非常にかかっていました。印刷作業だけでも膨大な時間がかかるため、資料準備を完了させるのに丸3日かけていた時もありましたが、今ではボタン一つでORPHISにデータが飛び、両面印刷から紙揃え・ステーブル留めまでの一連の流れを自動で行ってくれるため、作業負担は大幅に解消されました。ホチキス留めのある印刷依頼が入った時、作業と人の手配などを考慮して時間と計画を念入りに行っていましたが、今となってはホチキス留めのある印刷が急に来ても臨機応変に対応できるようになりました。ホチキス留めの自動化だけではなく自動で並び替えを行ってくれるソート機能や、1部ごとに3cm程左右にずらして排紙される仕分け機能も印刷請負する上でかなり重宝しています。



内製化と今後について

年に1度社員に配布する工場カレンダーを業者に外注していましたが、ORPHISが導入されてからは自社で印刷を行うように変更しました。3,000枚ほどをカラー印刷し、さらに冊子に差し込む業務まで外注していましたが、印刷から差し込みまでの内製化が成功したことにより大幅なコスト削減に繋がりました。

ORPHISにはまだまだ便利な機能があるようですがなかなか使いこなせていませんので、今後は現在別の複合機で印刷している封筒印刷や、自動で面付けしてくれる小冊子印刷などにも挑戦してみたいと思います。印刷作業がここまで楽になるとは夢にも思っていませんでしたのでこれからも当社にはORPHISが必要不可欠ですね。

また、ジムブレンさんは困った時や機械の調子が悪い時など、連絡すると当日中に対応してくれる為助かっています。今後も便利かつコストの安いORPHISをどんどん活用していきたいと思っています。

営業担当者の声

ORPHIS導入によって印刷物にかかるコスト削減と業務効率化を実現することができました。ユーザー様にその効果を実感していただくことができ、とても嬉しく思います。今後も役立つ情報や機能を紹介しながら、お客様を笑顔にできるような提案をしていきたいと思っています。



担当営業：田中 大裕